



MOS NEWS

平成 26 年 10 月 28 日

Ref. 14-1028-053

～夏季の高温や台風被害の少ない北海道でトマトを生産～

農業生産法人 株式会社モス・サンファームむかわを設立

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役会長兼社長：櫻田 厚、本社：東京都品川区）では、モスバーガー店舗で使用する生鮮野菜の安定した調達と産地との協力体制強化を目指し、農業生産法人 株式会社モス・サンファームむかわ（代表取締役社長：中奥 三徳、北海道勇払郡むかわ町）を設立しました。2015年5月より本格的な作付けを開始します。夏季の高温リスク、台風被害リスクの少ない北海道に農場を作ることで、全国的にトマトが不足しがちな秋期（9月—11月）の生産量の底上げを図ります。当初は、糖度や酸味に優れたトマト約140トン（年間収穫総量）を生産する計画です。当社として、農業生産法人を設立するのは4例目となります。

* 2006年に株式会社サングレイス（静岡県菊川市）、2013年に株式会社モスファーム熊本（熊本県八代市）、2014年4月に株式会社モスファームすずなり（静岡県磐田市）を設立しました。



【農場看板イメージ】

株式会社モス・サンファームむかわはモスフードサービスと中奥 三徳（なかおく みつのり）氏との共同出資会社で、資本金は4,500万円です。当社は、新会社に対し3,500万円を出資し、77.8%の株式を保有する株主となります。議決権ベースは24.8%で1/4以下※1となります。共同出資者の中奥 三徳氏は、鵡川農業協同組合（JAむかわ）のトマト部会に属しており、以前より当社の協力産地として、この部会からトマトの供給を行ってきました。研修生を町内に独立させるなど生産者の育成にも積極的です。

※1 一般株式会社の農業生産法人への出資について・・・

農地法により「株式の譲渡制限」があり、農業関係者（農家、農協等）以外の構成員は、総議決権の1/4以下と決められています。

モスフードサービスでは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「おいしさ、安全、健康」という考え方を大切にした商品と「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。食全般に対する関心が高まる中、外食産業と農業生産現場との協働は必要不可欠な要素となりつつあります。日本の農業は農業者の高齢化、次世代の担い手不足、栽培技術継承の停滞など、早急に解決が必要な課題が山積しています。当社ではあらゆる角度から実りのある協力体制を模索し、日本国内の農業や地域社会へ貢献していく考えです。

<株式会社モス・サンファームむかわ 概要>

株式会社モス・サンファームむかわは、北海道勇払郡むかわ町に位置し、圃場総面積は約 2.2 ヘクタール（約 6,700 坪）です。2014 年 11 月までに、1,000 坪の耐候性ハウスを 3 棟建設予定で、食味に優れた当社の規格にあう大きいサイズのトマトを中心に生産します。トマト栽培が終了した冬期～春期には、レタスの栽培にも取り組む計画です。

農場予定地の北海道勇払郡むかわ町鶴川地区は、北海道の道央圏に位置し、南は太平洋に面しています。地域を横断する一級河川「鶴川」に沿って水田を主体とする農用地が開け、冬も比較的に温暖で、降雨量及び降雪量とも少ないほうです。日照時間が長い気象条件を生かしハウス栽培が盛んです。

■設立	: 2014 年 3 月 28 日（金） *本格作付け開始は、2015 年 5 月
■商号	: 株式会社モス・サンファームむかわ（農業生産法人）
■資本金	: 4,500 万円
■所在地	: 北海道勇払郡むかわ町二宮 611 番地 2 (事務所設置は 2015 年 4 月予定)
■代表者	: 代表取締役社長 中奥 三徳（なかおく みつのり）
■おもな役員	: 取締役 富尾 泰正（株式会社モスフードサービス 商品本部 アグリ事業グループ シニアリーダー）
■施設	: 耐候性ハウス 計 1.0 ヘクタール
■おもな出資者	: 株式会社モスフードサービス、中奥 三徳 ほか

<参考>

◇『モスの生野菜』について

日本全国約3,411軒（2014年度）の協力農家により、農薬や化学肥料に極力頼らない方法で生産された野菜を、『モスの生野菜』と呼んでいます。安心・安全でおいしい野菜は良い土が育てると考え、土壤の成分を分析し、土に必要な栄養分を必要な量だけ与えるという、土づくりにこだわった農法を積極的に推進しています。モスバーガーのお店では、その日に届く野菜の主な産地と生産者を店内に掲示し「生産者の顔が見える野菜」としてご提供しています。

◇中奥 三徳氏について

当社の協力農家の一人であり、鶴川農業協同組合（JA むかわ）の元トマト部会部会長です。農業生産法人有限会社サンファームの代表取締役で、研修生を町内に独立させるなど、生産者の育成にも積極的です。

<この件に関する問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389

〒141-6004 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 4F

<http://mos.jp/> E-mail. pr@mos.co.jp